



昨冬期の教訓を今冬期に活かそう

申3号・2025年度冬期に関する申し入れを提出



■申3号 申し入れ項目
1. 架線凍結対策として架

新潟地本は9月12日に、申3号・2025年度冬期に関する申し入れを提出しました。今冬期に向けて万全の体制で臨むため、12項目にわたり申し入れを行いました。

新潟地本は6月27日に申12号・2024年度冬期検証に関する申し入れの団体交渉を行いました。2024年度の冬期を教訓として、2025年度冬期における安全・安定輸送の確保にむけて課題を鮮明にするために、労使で議論を行いました。

過去の反省点を活かし、労使間で一定の認識一致が図られたものの、課題も残されています。

2025年度冬期について安全安定輸送の確保を目的とした課題解決を図り2025年度冬期に向け万全の体制で臨むため新潟地本は9月12日に、申3号・2025年度冬期に関する申し入れを提出しました。

線凍結が予想される場合、柏崎駅～吉田駅間バターンダイヤで運行すること。

2. 上越線越後川口駅上り本線での持ち込み雪による起動不能対策を講じること。

3. ホーム除雪について各駅最大両数除雪を行うこと。

4. E653系側引戸の雪介在による列車遅延防止のため氷結解除スプレーを搭載すること。

5. 臨時単行機関車列車を運用する条件を満たした場合乗務員を確保に確保すること。

6. 試験的に整備したE129系カッターパンの有効性を確実に検証できるよう車両運用を確保すること。

7. 石打駅車庫内に制輪子



凍結対策としてパネルヒーターを設置すること。

8. 長岡駅南側構内についてはMR除雪を本線同様優先的にこなうこと。

9. 車掌の誘導による起動確認について担当行路の休養時間確保の観点から負担を緩和すること。

10. 越後湯沢駅、浦佐駅、金塚駅、西新発田駅、柏崎駅、大白川駅、小出駅のポイント不転換対策を講じること。

11. 乗務員によるポイント不転換対応について乗務員申告以上の指示を行わないこと。

12. 運休情報を早急に社員が把握できるような体制を構築すること。

定年退職まで安心して働ける制度を全組合員でつくろう！

中央本部は5月7日に団体交渉を行い、経営側より「JR東日本グループのさらなる飛躍に向けた新たな組織と働き方について」の提案を受けました。提案を受けて以降中央本部は、組合員・社員から寄せられている疑問や意見をもとに団体交渉を通じて説明を進めています。

今回の施策は、定年年齢の引き上げが大きな特徴のひとつとなっていることから、65歳まで安心して働くことができる制度・会

社を東日本ユニオンから創り出すために、意見の集約を行ってまいりました。今後は寄せられた意見をもとに、定年退職まで安心して働ける制度を創り出すために、基本要請を全組合員で作りに出していきます。

これまでに新潟地本に寄せられた多くの意見から幾つかを紹介します。

① 65歳まで安心して働くために、エルダー社員として働いている経験・実

感から課題や問題はありませんか？

- ・疲労が蓄積して中々疲れが取れない。体力の衰えにより移動や昇降作業が辛い。
- ・60歳を超えると途端にガタが来る場合があり、エルダー契約期間を勤め上げる自信がなくなっている。
- ・睡眠時間が短い作業ダイヤのため非番で帰宅するとかかなり体力的に辛い。休養時間をしっかりと取れる作業ダイヤが65歳までの

働くうえで大事だ。

- ・多くの場合、老後の不安として各種ローンなど蓄えの不安が多い。65歳退職まで減額しない制度は必要だ。
- ② 65歳まで安心して働くために、会社から提案されている制度に課題や問題はありますか？
- ・60歳で早期に退職できる制度は残してほしい。
- ・ただでさえ勤務箇所が少なくなる中で社員への負担が大きくなるので、希望しない転勤は廃止を。
- ・単身赴任で65歳までは厳しい。地元で働きたい。
- ・結婚して子育てなどお金がかかるときに基本給が高い方がよい。現行の定期昇給のままでよい。

・現在年末年始手当は設定されているが、混雑する大型連休とお盆期間は手当が無い。繁忙期の業務量増加に対して手当の新設が必要。

・住居手当のA・Bの範囲があまりに雑だ。

・子供は20歳くらいで外れるが、妻はずっと一緒にいるのに妻を扶養手当から外すのはおかしい。

・主務職以上にも子供手当支給を望む。マネジメント手当はマネジメントや人材育成のためであり、子供手当とは考えが違ふ。

・遠距離通勤はキツイ。希望する社員は自宅から近い勤務地にするべき。60歳以降の選択の幅を持たせて欲しい。

厳しい残暑もなんのその！飲んで食べて語り合った！

酒田地区分会納涼会

酒田地区分会は8月22日に「分会納涼会」を開催しました。

今回は12名の仲間から参加していただき、業務中の出来事や私生活の話題等で盛り上がりしました。

現在取り組み中である「65歳まで安心して働ける制度の実現をめざした全組合員意見集約の取り組み」の内容でも盛り上がり、様々な意見が交わされました。

酒田地区分会では、これからも継続してレクリエーションを開催していきます。

(酒田地区分会投稿)